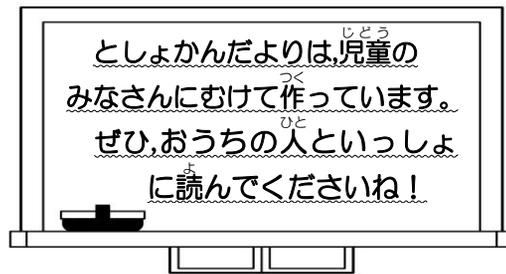




令和元年5月8日(水) 銘苅小学校図書館



新学期が始まり、はや1ヶ月近くなります。今月は、本の予約受付がスタートします(2年生以上)。毎日たくさんのお友だちが図書館を利用しています。図書館では「しずかに! あんぜんに!」そして、本を大切にみつめてください。本をもちほびするときは、手さげかばんを使うといいですね。

本を読むと、かしこく・やさしく・たのしくなる!

4月23日は、子ども読書の日でした。子どもたちから、本に親しみ、読書の楽しさを知っていると頭と心にたくさん栄養をとることができます。

読書をする時、

①かしこくなる。(知識が増える。言葉が豊かになる。)

②やさしくなる。

(相手の立場を考る想像力が育つ。人の気もちがわかる。)

③たのしくなる。(本の世界でドキドキワクワクする。)

★毎月第3日曜日は、「ファミリー読書の日」(家庭の日)です。「ノーテレビ・ノーゲーム」の時間を作り、家族そろって本を読んだり、本について語り合う時間を過ごしてみませんか?

しがつ 4月の
かしだしさうす
貸出冊数
何冊かいたかな?

1年生
203冊
(平均2.0冊)

2年生
1,123冊
(平均9.9冊)

3年生
1,031冊
(平均9.3冊)

2019年
4月
9日~26日

4年生
1,120冊
(平均10.5冊)

5年生
1,593冊
(平均10.7冊)

6年生
1,042冊
(平均11.3冊)

合計 6,112冊



詩の紹介 「本は一生の友だち」

本は友だち。一生の友だち。子ども時代に友だちになる本、そして、大人になって友だちになる本。本の友だちは一生その人と共にある。こうして生涯話しあえる本と出会った人は仕あわせである。
石井桃子(児童文学者)

<5月の行事> 健やかに! こどもの日

5月5日はこどもの日でした。端午の節句ともいわれ、古くは厄(わざわい)よけ、武士の時代になると男の子の節句となりました。現在は国民の祝日となり、子どもたちの健やかな成長と幸せを願う日です。おうちの方や地域の方、先生たちは銘苅っ子の健やかな成長と幸せを願っています!

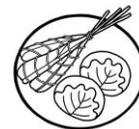
【端午の節句のかざりや食べものを知っているかな?】

◆こいのぼり…滝のぼりをする鯉のいきおいに子どもの成長をかさねています。

◆五月人形…男の子のたくましい成長を願い、いさましい武者人形やよろいかぶとなどをかざります。



◆ちまき…むかし中国では水神さまにささげる食べものでした。食べるとわざわいにあわないといわれています。



◆かしわもち…かしわの親葉は、かかれても新芽が育つまで落ちないことから「跡継ぎが途絶えない=子孫繁栄」で縁起がいいといわれたり、「親が子のぶじを願う気持ち」につうじるともいわれています。



◆しょうぶ…強いにおいでわざわいをはらうとされています。「菖蒲」が「尚武(武を尊ぶ)」につうじています。
(参考資料:「子どもと楽しむ行事とあそびのえほん」すとうあさえ・作(のら書店)

※行事の由来には、さまざまな説があります。みなさんも、本で調べたり、年長者から話をきいたりして調べてみましょう。季節の行事には、自然への感謝や共生の願いがこめられています。祖先から受け継がれてきた文化を私たちも大切にしていきたいですね。